

2021年1月24日

祈りの時

詩篇3篇1～8節

# ＜ 3 ＞ダビデがその子アブシャロムからののがれた ときの賛歌

3:1 【主】よ。なんと私の敵がふえてきたこと  
でしょう。私に立ち向かう者が多くいます。

3:2 多くの者が私のたましいのことを言  
っています。「彼に神の救いはない」と。

セラ

3:3 しかし、【主】よ。あなたは私の回りを  
囲む盾、私の栄光、そして私のかしらを高く上げて  
くださる方です。

3:4 私は声をあげて、【主】に呼ばれる。すると、聖なる山から私に答えてくださる。 セラ

3:5 私は身を横たえて、眠る。私はまた目をさます。【主】がささえてくださるから。

3:6 私を取り囲んでいる幾万の民をも私は  
恐れぬ。

3:7 【主】よ。立ち上がってください。私の神。  
私をお救いください。あなたは私のすべての敵  
の頬を打ち、悪者の歯を打ち砕いてくださいま  
す。

3:8 救いは【主】にあります。あなたの祝福が  
あなた  
の民の上にありますように。 セラ

1 3篇の表題には「ダビデがその子  
アブシャロムからのがれたときの賛歌」  
と書かれています。ダビデは晩年、  
息子アブシャロムのクーデターに遭い、  
多くの子飼の部下に背かれ、  
王としての能力がないと非難され、  
命からがら逃げています。  
そんなときにダビデが祈った祈りです。

1～2節を読みましょう。  
「主よ。なんと私の敵が  
ふえてきたことでしょう。  
私に立ち向かう者が多くいます。  
多くの者が私のたましいのことを  
言っています。  
彼に神の救いはないと。」

2 そんな絶体絶命の危機の時、  
3～4節でダビデは主に向かって  
叫んでいます。

「しかし、主よ。あなたは私の回りを囲む盾、  
私の栄光、そして私のかしらを  
高く上げてくださる方です。

私は声をあげて、主に呼ばれる。  
すると、聖なる山から私に答えてくださる。」

私たちも苦難の時ダビデと共に  
「しかし、主よ。あなたは私の回りを囲む盾、  
私の栄光、  
そして私のかしらを  
高く上げてくださる方です。」  
と祈り叫びましょう。

3 ダビデは羊を飼っている少年のころ  
熊や獅子と戦いました。

青年になってゴリアテと戦い、  
外敵ペリシテと戦いました。

サウル王に仕えましたが、  
主君サウル王から攻撃され、

心の中の復讐したいという思いと戦いました。晩年  
息子アブシャロムの反乱に遭いました。

心の中でくやしさを情けなさで戦いました。

そんな中でダビデは主の守りを  
信じていました。

5～6節を読みましょう。

「私は身を横たえて、眠る。

私はまた目をさます。

主がささえてくださるから。

私を取り囲んでいる幾万の民をも

私は恐れない。」

外患内憂で悩む時もダビデと共に

この5～6節を歌い告白して祈りましょう。

4 今世界はコロナウィルスと戦っています。  
ゴリアテやアブシャロムとは異なった  
敵との戦いです。主に目を向けましょう。  
8節を信仰を持って心から告白しましょう。  
「救いは主にあります。  
あなたの祝福があなたの  
民の上にありますように。」  
自分のためだけでなく  
友のためにも祈りましょう。

2021年第4の主の日の礼拝です。  
今日も礼拝が守れたことを感謝しましょう。

多くの行動が制限されています。

しかし心の中は自由です。

神様に祈ること、賛美すること、神様の恵みを  
思いめぐらすこと、み言葉に親しむことに  
何の制約もありません。

この週も毎日、主の前で静まる時、  
聖書を読む時を確保して恵まれた  
豊かな歩みができるように祈りましょう。

2021年も来月教会の総会が行われます。  
主からの知恵が与えられるように。  
礼拝や他の集会が  
祝福され感染から守られ安全に  
行われるように祈りましょう。  
会堂の礼拝、リモートの礼拝、ともども  
霊と真をもって一つとなって  
主を心からの礼拝をささげましょう。  
対面的な集会や活動が困難な中  
獄中から手紙を書き送ったパウロに学んで  
可能な交わりができるように祈りましょう。

家族、子供たち、遠くにいる友のことを覚えて  
祈りましょう。

緊急事態宣言は関西でも出されています。

風邪、インフルエンザ、その他の病、  
無気力、閉塞感、鬱症状、誘惑から守られる  
ように、

社会生活、学校生活が守られ、祈りましょう。

教会学校が祝福されように祈りましょう。  
一人一人の仕事、経済が守られ祝福されるよ  
うに。

この一週間元気に守られ、  
又来週元気に主を礼拝できるように。

主の祈り

天にまします我らの父よ  
願わくは御名をあげさせたまえ  
御国を来たらせたまえ  
御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく  
我らの罪をも赦したまえ  
我らを試みにあわせず  
悪より救いだしたまえ  
国と力と栄えとは  
限りなく汝のものなればなりアーメン